

中津市民病院 広報誌

# ゆりかご



Vol.44  
令和6年9月  
発行



## 目次

●新任医師紹介	P2
●トピックス…P3～P9	
1. 開院記念講演会	P3
2. 第6回中津市民病院と 地域医師会連携情報交換会	P4
3. ふれあい看護体験	P5
4. 看護部既卒採用者研修	P5
5. 九州大学救急医学講座救命救急センター長 赤星朋比古教授講演会	P6
6. 九州大学脳神経外科 吉本幸司教授講演会…P6	
7. 第8回なかつ広域がん化学療法 まなびのすすめ	P7
8. 大分大学医学部 呼吸器・感染症内科学講座 小宮幸作教授講演会	P8
9. 緩和ケアセンター七タイイベント	P8
10. ご存知ですか？患者サポートセンター ～がん相談窓口のご案内～	P9
11. 新入職員懇談会を開催しました	P9
●特集「新しい低栄養の診断基準」	P10
●外来診療担当医表	P12



## 新任医師紹介

今年度から当院に勤務する医師を紹介します。

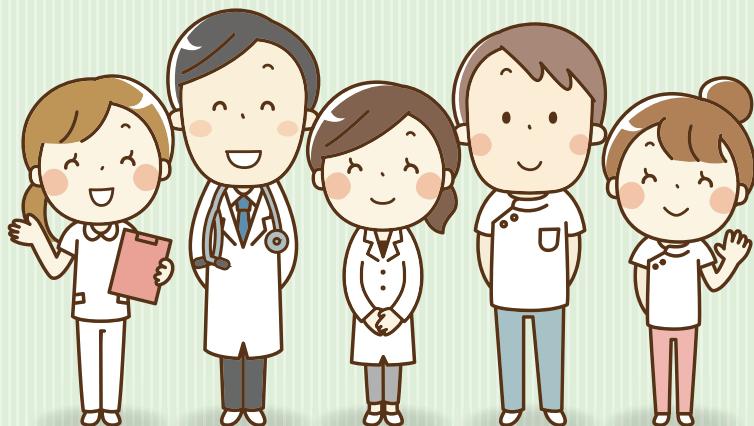
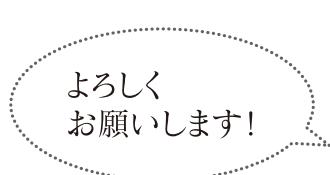
(令和6年7月1日～)



呼吸器内科

**岩下 広志 Dr.** (いわした ひろし)

7月より勤務しています呼吸器内科の岩下広志と申します。群馬大学を卒業後、群馬県内で呼吸器内科医として働いてきました。この度ご縁がありましたので、出身地の中津市に戻ってきました。前職では高度救命救急センターを擁する基幹病院に勤務し、急性期の重症呼吸器疾患、専門的治療が必要な呼吸器悪性腫瘍・間質性肺疾患等を診療してきました。それら経験を活かし、中津市の呼吸器医療に貢献できればと考えています。



ト  
ピ  
ッ  
ク  
ス

## 開院記念講演会

令和6年7月6日(土)に、令和6年度開院記念講演会を行いました。

看護師からの地域連携報告、来賓のはまき聖悟先生による「笑顔の子どもを育む地域を創る旅の途中経過」というテーマでのオンライン講演、研修医13名の発表の後、OBの医師による近況報告がありました。中西理先生より「今、中津がアツい!!～近況報告も兼ねて」、渡邊哲博先生より「中津市民病院での5年間を振り返って」、倉光絵梨奈先生より「Next Stage～訪問診療部 立ち上げ～」、鶴丸大介先生より「Move ! The earlier the better！」、八板謙一郎先生より「最近の性感染症事情」というテーマでの発表、報告がありました。オンラインと対面での両面による開催でしたが、質疑応答が盛んに行われ、旧交を温める有意義な会となりました。



## 第6回中津市民病院と地域医師会連携情報交換会

令和6年6月19日(水)の午後7時より、「中津市民病院と地域医師会連携情報交換会」をハイブリッド方式（会場とZOOMの併用）にて開催しました。

今年度は、中津胃腸病院理事長深野昌宏先生より中津胃腸病院の紹介と中津市民病院との連携についてご発表いただき、中津市民病院からは折田博之院長ほか2名による診療状況の報告を行いました。

新任医師の紹介では、4月赴任の医師が自己紹介を行い、最後には永管理者より閉会あいさつを述べ、会を終了いたしました。

大分県北及び豊前築上地域の医療機関より多くの先生方のご参加をいただき、有意義な交換会となりました。



中津胃腸病院  
理事長 深野昌宏氏



中津市民病院  
院長 折田博之



中津市民病院  
がんセンター長  
奈須家栄



中津市民病院  
臨床腫瘍科部長  
江見泰徳



会場の様子



中津市民病院 新任医師の紹介

## ふれあい看護体験

近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、毎年5月12日は「看護の日」とされています。そして、12日を含む1週間を「看護週間」として、“看護の心をみんなのこころに”をテーマに「ふれあい看護体験」が実施されています。

当院では、5月21日(火)に看護や医療に关心のある高校生4名が参加されました。

看護衣に袖を通し、内科病棟を見学しました。看護師の仕事内容について説明を受けたり、実際にストレッチャーや車椅子を動かしてみました。車椅子に乗ってみて患者さんの体験も行いました。

参加した学生さんは「いい経験になりました」「さらに興味が湧きました」などの意見がありました。現場で働く看護師と学生との交流の場にもなりました。



## 看護部既卒採用者研修

5月16日(木)に4月からの既卒採用者に対して人工呼吸器の研修が行われました。

看護師の経験がありますが、呼吸器の基本や当院で使用している呼吸器の種類や、点検の方法、異常時の対応について学習しました。その他に「医療安全」「がん看護」についても研修が行われました。即戦力として活躍が期待されます。



## 九州大学救急医学講座救命救急センター長 赤星朋比古教授講演会

令和6年5月10日(金)に、九州大学救急医学講座 救命救急センター長の赤星朋比古教授による院内講演会が「これから救急医学—これから必要とされること」と題して行われました。

講演会では、災害・救急医学の第一線で活躍されている赤星先生に、これまでのご経験や現在勤務されている九州大学病院の救命救急センターで取り組まれていることについて貴重なお話をいただきました。

当院においても、今年度より救急科が発足したこともあり、地域に必要とされる救急科としてあるために非常に有意義な講演会となりました。



## 九州大学脳神経外科 吉本幸司教授講演会

令和6年6月24日(月)に、九州大学脳神経外科の吉本幸司教授による講演会が「脳神経外科疾患の病態理解と治療における最近の進歩」と題して行われました。

講演会では、脳出血、水頭症、脳動脈瘤などの脳神経外科での治療が必要な諸疾患や、それに対する最新の治療方法について、吉本先生より自らのご経験を交えてわかりやすく解説していただきました。

貴重なお話をいただき、ありがとうございました。



## 第8回なかつ広域「がん化学療法」学びのすすめ

令和6年8月10日(土)に当院主催で地域の薬剤師とがん化学療法の研修会を実施しました。近年多くの患者に使用されている免疫チェックポイント阻害剤と従来から使用されている抗がん剤の併用療法について、医師と薬剤師によるロールプレイを通して学習しました。

今回は、今年度よりがんセンター長に就任された奈須医師から卵巣がんの治療に関する講義、磯田薬剤師から抗がん剤治療における有害事象のマネジメントについて講義やロールプレイを行いました。ロールプレイでは、受講者の薬剤師が模擬患者となり、医師からインフォームド・コンセントを行ってもらいました。また、抗がん剤治療中の有害事象マネジメントやトレーシングレポートによる医師への情報提供について症例を通じて学習を行いました。



免疫チェックポイント阻害剤による有害事象は、発現時期の予想が難しく、治療中は病院だけでなく、保険薬局など地域の医療従事者と連携・情報共有を行い、有害事象の早期発見・早期対応が重要となります。今後も、地域全体でがん患者さんを支えることができるよう研修会開催を行っていきます。



## 大分大学医学部 呼吸器・感染症内科学講座 小宮幸作教授講演会

令和6年7月10日(水)に、大分大学医学部 呼吸器・感染症内科学講座の小宮幸作教授による講演会が「新肺炎診療ガイドラインをレビューする～抗菌薬の適正使用について～」と題して行われました。

講演会では、細菌・ウイルス、または誤えんといった肺炎の分類、またその原因に応じた抗菌薬の使用が効果的に用いられるケースについて、小宮先生より実例を用いた解説をしていただきました。

当院においても、肺炎への治療方法をアップデートしていく上で、非常に有益な講演会となりました。



## 緩和ケアセンター七夕イベント

今年も緩和ケアセンターで患者様やご家族様、病院スタッフそれ  
ぞれの願いを短冊に込めました。

「みんなで旅行に行きたい！」

「色々なことが全てうまくいって笑ってすごせますように！」

「長生きしますように！」etc.

スタッフの願い事は…「みんなが早く元気になりますように!!」

中津市民病院緩和ケアセンターではこれからも季節のイベント  
を大切にしていきたいと思います。



## ご存知ですか?患者サポートセンター ～がん相談窓口のご案内～

当院は平成23年4月に厚生労働省より「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受けました。指定施設は、がんに対する治療や設備の充実とともに、「安心して治療や療養を行えるよう患者さんや家族の相談支援」の役割を担う「がん相談支援センター」が設置されています。

具体的には「がんと言われたけど詳しく病気について知りたい」「セカンドオピニオンについて知りたい」「退院後の生活が気がかり」「介護や福祉サービスについて知りたい」「医療費が気になる」など治療や療養生活に関する様々なご相談をお伺いしています。

医療ソーシャルワーカー（社会福祉士、保健師）が、より安心してその方らしい生活を過ごせるよう、一緒に考え、お手伝いさせて頂ければと思います。1人で悩まずにお気軽にご相談下さい。相談は無料で秘密は厳守いたします。他病院で治療中の患者さんやご家族も相談可能です。

相談内容によっては、地域の関係機関や病院内の様々な職種と連携をとり、適切な窓口へ連絡・紹介などを行っております。

**場 所:**1階内科受付隣の9番窓口  
 「患者サポートセンター地域医療連携室」  
**相談受付:**月曜日～金曜日  
 (土、日、祝日、年末年始を除く)  
**受付時間:**9:00～16:00  
 (対応時間 17:00まで)  
**相談直通TEL:**0979-22-6521



## 新入職員懇談会を開催しました

令和6年4月25日(木)にヴィラルーチェで新入職員歓迎会が行われました。会の中では新入職員が意気込みを語り、その初々しい姿にみんな当時を思い出しました。新入職員との懇親を深めることができ、また参加者全員が「明日から頑張ろう」と思える会となりました。新入職員の皆さん頑張ってください。



## 特集 新しい低栄養の診断基準 ～GLIM基準 (Global Leadership Initiative on Malnutrition)～

基本診療料の施設基準の中で、入院患者に対して医師、看護師、管理栄養士、その他医療従事者が共同して栄養管理を行う体制を整備し、施設ごとに栄養管理手順（標準的な栄養スクリーニングを含む栄養状態の評価、栄養管理計画、退院時を含む定期的な評価等）を作成することが定められています。

令和6年度診療報酬改定で、この栄養状態の評価に、世界規模の低栄養診断基準であるGLIM基準を用いることが厚生労働省より通達されました。

当院でも、9月よりGLIM基準を用いた栄養管理を開始します。栄養スクリーニングツールはMST (Malnutrition Screening Tool) を使用し、低栄養リスクのある患者を大まかに抽出、抽出された患者に対してGLIM基準にて低栄養診断と重症度診断を行っていきます。この診断を元に、入院中の栄養管理を行います。転院、施設への退院など地域連携の際の共通した基準としての活用も期待されています。

NST委員会ではGLIM基準使用開始にあたり、職員対象の学習会を行いました。

体重の推移をみると栄養状態を把握するためにはとても重要です。ご自身の体調管理として日頃からの体重測定をぜひ行ってください。



NST委員会の様子

## 【GLIM基準とは】

世界の主要な臨床栄養学会が協力し、「Global Leadership Initiative on Malnutrition (GLIM)」として、新しい成人の低栄養診断基準を提唱しました。

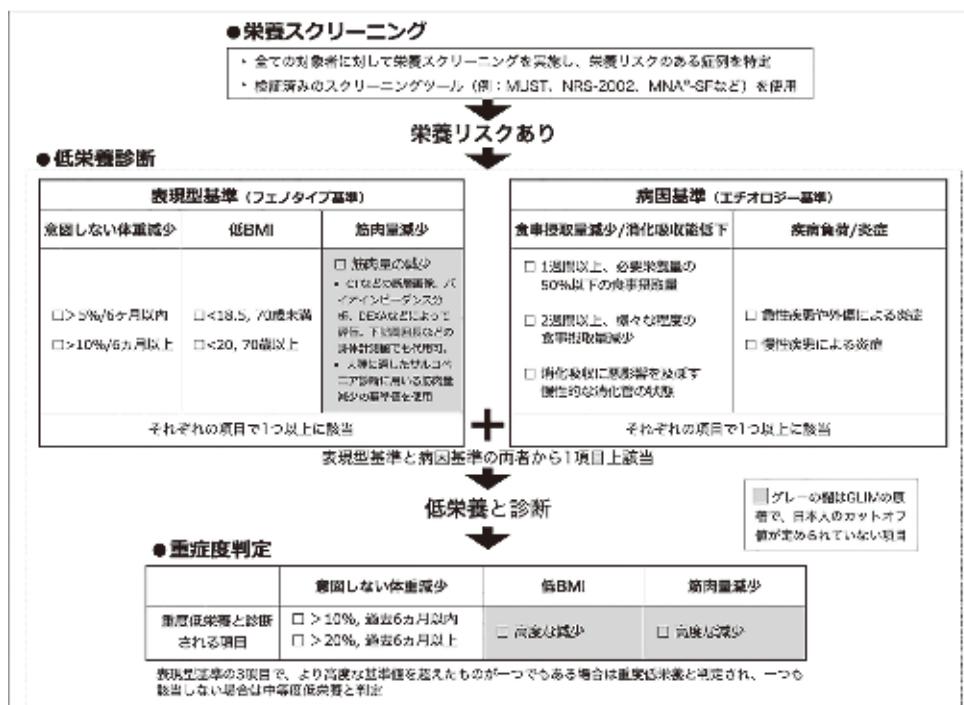
GLIM基準は、従来の食物摂取不足による低栄養に加え、医療施設における疾患関連性低栄養も考慮されており、低栄養の診断及び栄養治療における世界標準の基準、“世界の共通言語”となることが期待されています。

## 【GLIM誕生の背景】

低栄養は、病院の入院患者や外来患者、高齢者施設の入所者など、世界中の様々な療養環境にいる人々に悪影響を与えます。低栄養によって引き起こされる治療効果の低下や合併症リスクの増加は、臨床アウトカムの悪化と密接に関連しています。このため、医療機関では低栄養対策が重要な課題となっています。しかし、国際的な低栄養診断基準は定まっておらず、国や地域による基準の差異は、国際的な低栄養対策の研究や協力に支障を來してきました。

GLIM基準は、これらの問題を解決するために世界の主要な栄養学関連学会が協力して開発されました。この基準により、世界的に一貫した栄養状態の評価が可能となり、より効果的な栄養治療が提供されることが期待されます。

図 GLIM基準による低栄養診断のプロセス



略語 MUST, Malnutrition Universal Screening Tool; NRS-2002, Nutritional Risk Screening 2002; MNA®, Mini Nutritional Assessment Short-Form; BMI, body mass index; DEXA, Dual energy X-ray Absorptiometry  
参考文献 Cederholm T, et al. GLIM criteria for the diagnosis of malnutrition – A consensus report from the global clinical nutrition community. Clinical Nutrition 2019; 38:1–9. <https://doi.org/10.1016/j.clnu.2018.08.002>.

## 外来診療担当医表

※非常勤医師については、記載しておりません。

診療科	曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
循環器内科		吉良晋太郎	久米 治	富來 公一	久米 治 吉良晋太郎	富來 公一
消化器内科		大森 薫 児玉 康弘	末廣 侑大 大森 薫	安部 雄治 梅野 成大	児玉 康弘 末廣 侑大	安部 雄治 梅野 成大
血液内科		池田 元彦	池田 元彦	池田 元彦	池田 元彦 (再診のみ)	池田 元彦
神経内科		太田 浄文		太田 浄文		太田 浄文 (再診のみ)
呼吸器内科			岩下 広志 (午前再診のみ)	岩下 広志 (午後予約のみ)	岩下 広志 (午後予約のみ)	
腎臓内科		青木 宏平	幸松 展央	幸松 展央	青木 宏平	青木 宏平
小児科	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
小児外科					増田 吉朗	
脳神経外科	古賀 広道	古賀 広道 (午後手術)	古賀 広道			古賀 広道
消化器外科	内田 博喜 佐藤 雄太	江頭 明典 梅田 健二	江頭 明典 内田 博喜 佐藤 雄太	江頭 明典 梅田 健二		内田 博喜
呼吸器外科		福山 康朗 辛島 高志				福山 康朗 辛島 高志
乳腺外科	永松 敏子 (再診のみ)		永松 敏子	永松 敏子		
心臓血管外科	木村 龍範 漆野 恵子		木村 龍範 漆野 恵子 (予約のみ)	木村 龍範 (再診のみ) 漆野 恵子 (予約のみ)	木村 龍範 (午前手術) 漆野 恵子 (午後予約のみ)	
泌尿器科	魚住 友治 佐藤 嘉晃 (再診のみ)	魚住 友治 佐藤 嘉晃		魚住 友治 (再診のみ) 佐藤 嘉晃	魚住 友治 佐藤 嘉晃 (午前再診のみ) (午後手術)	
産婦人科	松本 治伸 森田 泰介 小畠 絵梨 島 一晃	松本 治伸 森田 泰介 小畠 絵梨 島 一晃		松本 治伸 森田 泰介 小畠 絵梨 島 一晃	奈須 家栄 松本 治伸 小畠 絵梨 島 一晃	
放射線科	日高 啓 深澤 和憲 馬場 博	日高 啓 深澤 和憲 馬場 博	日高 啓 深澤 和憲 馬場 博	日高 啓 深澤 和憲 馬場 博	日高 啓 深澤 和憲 馬場 博	
歯科口腔外科	高橋 喜浩 田村 舞	高橋 喜浩 (予約のみ) 田村 舞	高橋 喜浩 田村 舞	高橋 喜浩 (再診のみ)	高橋 喜浩 田村 舞	
臨床腫瘍科	江見 泰徳	江見 泰徳	江見 泰徳	江見 泰徳	江見 泰徳	江見 泰徳
緩和ケア外来(予約のみ)			福山 康朗			

※整形外科・耳鼻いんこう科はしばらく休診します。

## 外来診療案内

**受付時間:午前8:30～午前11:00**  
**休診日:土曜日・日曜日・祝日**  
**年末年始(12月29日～1月3日)**

※救急の患者さんやご予約の患者さんは、上記時間外でも対応させていただきます。

## 表紙…開院記念講演会

詳細については3ページにて紹介しております。ご覧ください。

## 面会及び荷物の受渡しについて

**【面会時間】**  
**13時～17時(平日・休日)**

**【荷物の受け渡し可能時間】**  
**月～金曜日 13時～19時**  
**土～日曜日(祝日も含む) 11時～19時**

※院内受付で健康確認等の手続きが必要になります。

※荷物を直接患者さんへ受渡しすることはできません。



〒871-8511 大分県中津市大字下池永173番地  
TEL:0979-22-2480(代表) FAX:0979-22-2481(代表)